

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

その他の有価証券・・・決算日の市場価格等に基づく時価法（評価差額は正味財産増減額として処理し、売却原価は総平均法により算定）を採用している。

(2) 消費税等の会計処理

消費税の会計処理は、税込方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
投資有価証券 利付国債(基)	100,000,000		100,000,000	0
投資有価証券 平和堂株式(基)	2,400,000,000		294,000,000	2,106,000,000
普通預金(基)	130,000	220,005,135	220,135,135	0
定期預金(基)	120,000,000	220,130,000	120,000,000	220,130,000
小計	2,620,130,000	440,135,135	734,135,135	2,326,130,000
合計	2,620,130,000	440,135,135	734,135,135	2,326,130,000

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
投資有価証券 平和堂株式(基)	2,106,000,000	2,106,000,000	0	
定期預金(基)	220,130,000	100,130,000	120,000,000	
小計	2,326,130,000	2,206,130,000	120,000,000	
合計	2,326,130,000	2,206,130,000	120,000,000	0

4. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

内容	金額
経常収益への振替額	
基本財産受取配当金	50,000,000
小計	50,000,000
合計	50,000,000

附属明細書

1. 重要な固定資産の明細

(単位：円)

区分	資産の種類	期首帳簿価額	当期増加額	当期減少額	期末帳簿価額
基本財産	投資有価証券 利付国債(基)	100,000,000		100,000,000	0
	投資有価証券 平和堂株式(基)	2,400,000,000		294,000,000	2,106,000,000
	普通預金(基)	130,000	220,005,135	220,135,135	0
	定期預金(基)	120,000,000	220,130,000	120,000,000	220,130,000
	基本財産計	2,620,130,000	440,135,135	734,135,135	2,326,130,000